

スギ・ヒノキ花粉飛散予測のまとめ

1 各調査手法によるスギ・ヒノキ花粉の飛散数予測

表1 予測数まとめ (個/cm²/シーズン)

観測点 区市名	予測 A (倉本) (資料 2 参照)	予測 B (村山) (資料 3 参照)
千代田	5,471	5,384
葛飾	5,483	5,358
杉並	6,564	6,085
北	5,532	5,028
大田	5,439	5,259
青梅	12,997	12,677
八王子	8,554	8,471
多摩	7,022	6,572
町田	4,988	4,960
立川	5,325	5,960
府中	4,123	5,360
小平	3,152	3,015

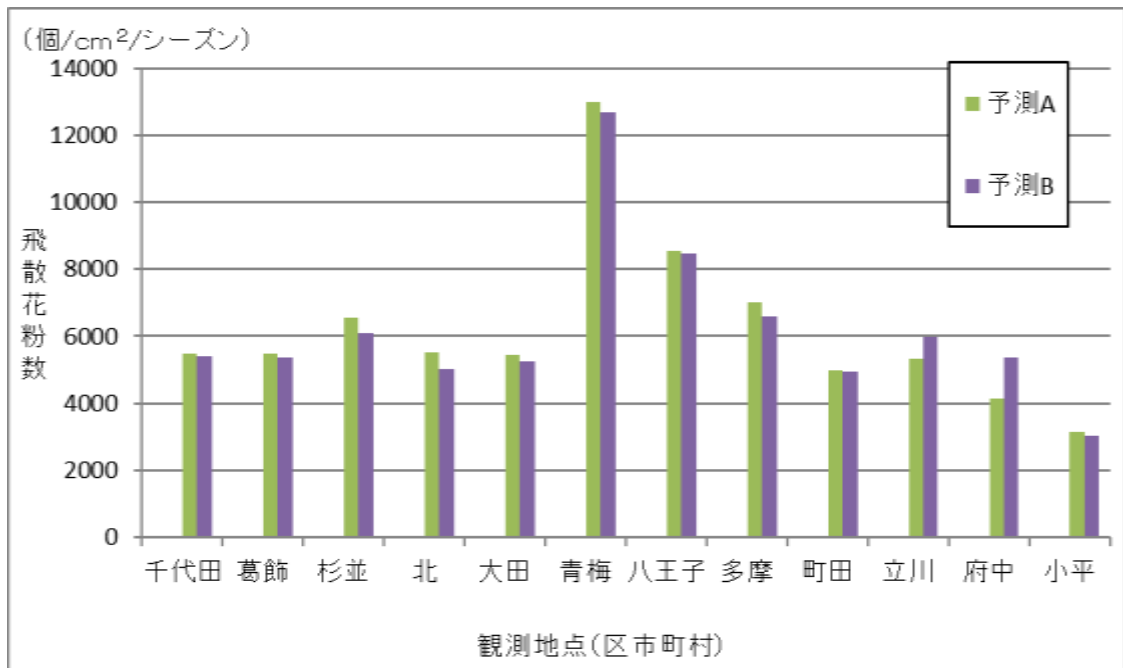


図1 飛散数予測の比較

2 予測の調整

表2 各予測と予測幅案

測定点 区市名	予測A (倉本)	予測B (村山)	予測C (調整後)	下限※	上限※
千代田	5,471	5,384	5,428	4,613	6,242
葛飾	5,483	5,358	5,420	4,607	6,233
杉並	6,564	6,085	6,324	5,376	7,273
北	5,532	5,028	5,280	4,488	6,072
大田	5,439	5,259	5,349	4,547	6,151
青梅	12,997	12,677	12,837	10,911	14,762
八王子	8,554	8,471	8,513	7,236	9,790
多摩	7,022	6,572	6,797	5,777	7,816
町田	4,988	4,960	4,974	4,228	5,720
立川	5,325	5,960	5,643	4,796	6,489
府中	4,123	5,360	4,741	4,030	5,452
小平	3,152	3,015	3,083	2,621	3,546

※ 予測Cの±15% (小数点以下四捨五入)

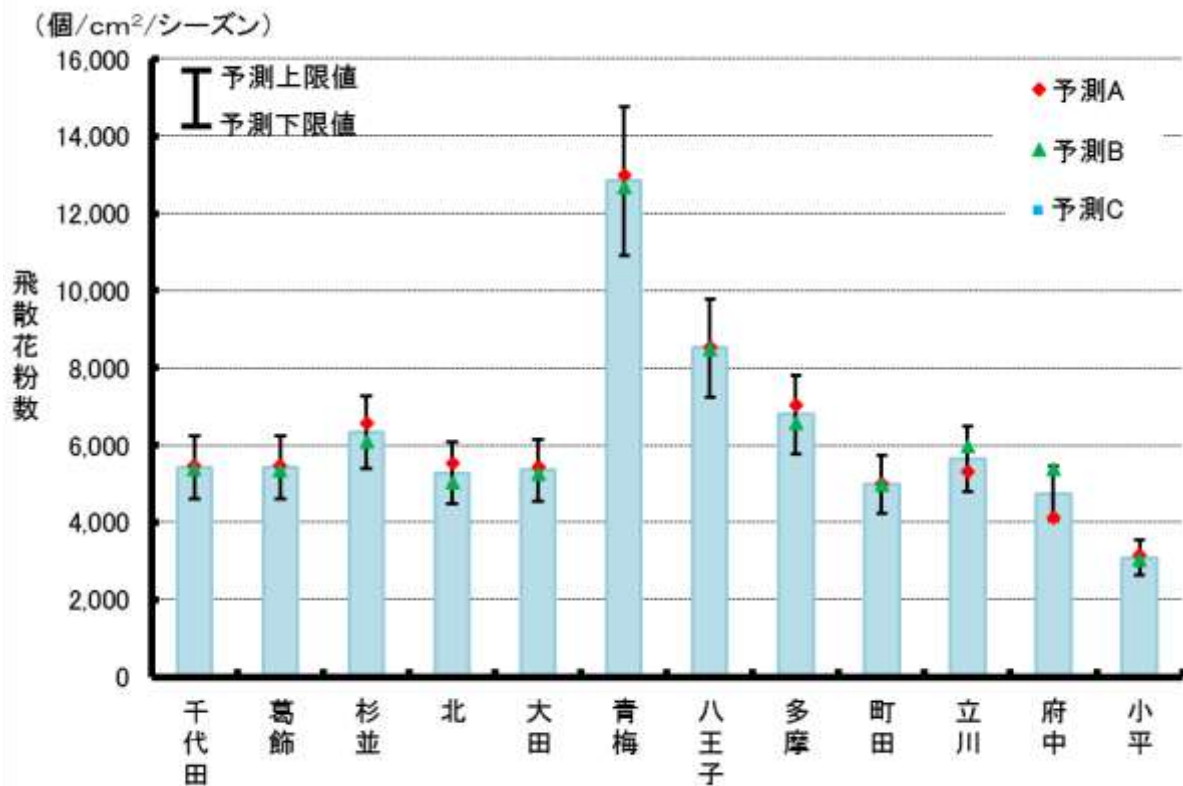


図2 予測幅案と各予測との比較

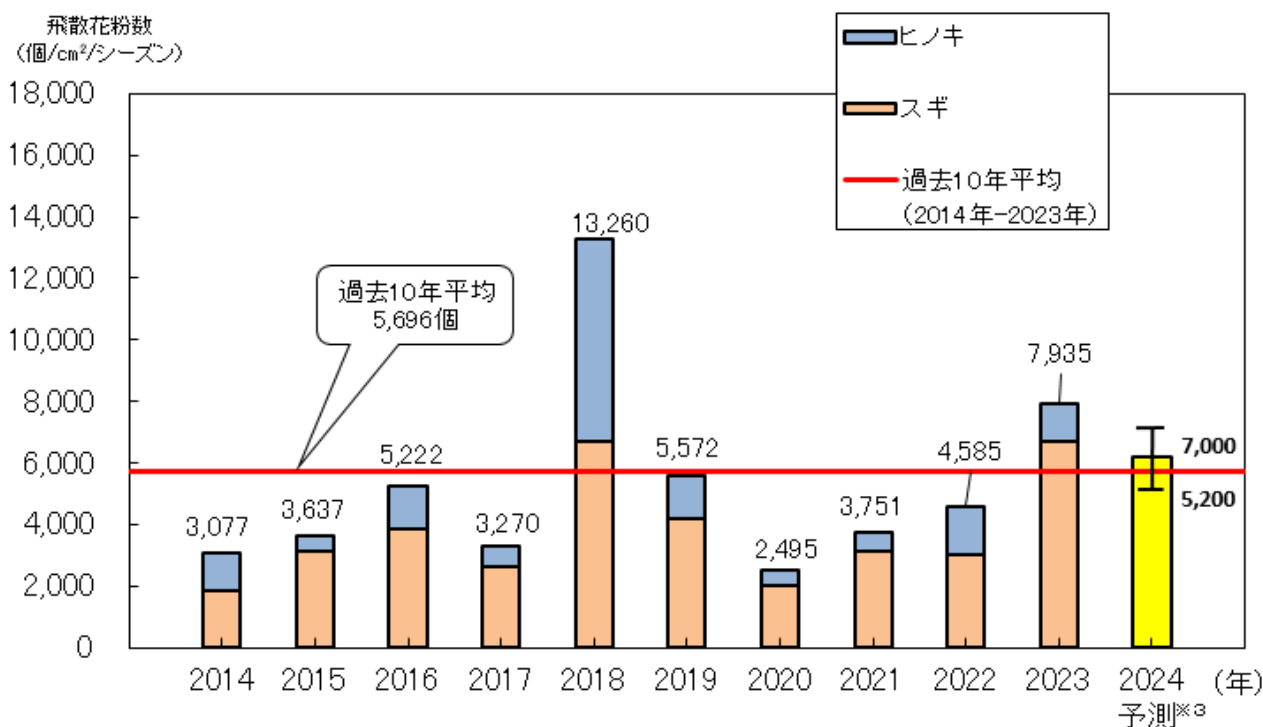
3 スギ・ヒノキ飛散花粉数予測のまとめ

表3 飛散花粉数

測定点 区市名	2024年 飛散花粉数予測値※ ¹	2023年比 過去10年平均比	2023年 飛散花粉数	過去10年の 平均飛散 花粉数	過去の 飛散花粉数※ ²	
					最小値	最大値
千代田	4,600～6,200	0.8～1.1 0.9～1.2	5,884	5,162	277	11,465
葛飾	4,600～6,200	0.8～1.1 0.9～1.2	5,680	5,164	136	11,959
杉並	5,300～7,200	0.6～0.9 0.9～1.2	8,453	6,210	118	14,614
北	4,400～6,000	0.6～0.9 0.8～1.2	6,876	5,197	242	11,707
大田	4,500～6,100	0.7～0.9 0.9～1.2	6,884	5,136	148	12,481
区部平均	4,600～6,300	0.7～0.9 0.9～1.2	6,755	5,374	—	—
青梅	10,900～14,700	0.6～0.8 1.0～1.3	17,596	11,394	125	37,899
八王子	7,200～9,700	0.7～1.0 1.0～1.3	10,020	7,540	142	24,958
多摩	5,700～7,800	1.0～1.3 0.9～1.3	5,987	6,236	1,035	21,565
町田	4,200～5,700	0.7～1.0 0.9～1.3	5,794	4,487	215	18,914
立川	4,700～6,400	0.4～0.6 0.9～1.2	11,432	5,234	1,292	19,969
府中	4,000～5,400	0.7～1.0 1.1～1.4	5,460	3,758	772	15,914
小平	2,600～3,500	0.5～0.7 0.9～1.2	5,153	2,834	291	12,345
多摩地域平均	5,600～7,600	0.6～0.9 0.9～1.3	8,777	5,926	—	—
都内平均	5,200～7,000	0.7～0.9 0.9～1.2	7,935	5,696	—	—

※1 花粉数の単位は、花粉飛散シーズン中に花粉捕集器（ダーラム型）のスライドグラス1平方センチメートル内に付着した花粉の個数で表します。

※2 過去の飛散花粉数（最大値、最小値）は都の観測開始（1985年）以降のもので、千代田は1990年以降、小平は1997年以降、多摩・立川・府中は2005年以降のもので。



※3 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。予測値は、スギとヒノキの合計値です。

図3 飛散花粉数の経年変化（都内12地点平均）

4 飛散花粉数の経年変化（過去10年平均*4）

都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、過去10年平均は横ばいですが、年によって飛散量の差が大きい傾向にあります。（図4）



※4 1990年に千代田で測定開始、1997年に小平で測定開始、2005年に多摩、立川、府中で測定を開始した。2005年以降は、現在の12地点で測定を行っている。

図4 飛散花粉数と過去10年平均*4

5 飛散花粉数が多い日^{※5}の予測について

調整後の飛散花粉数の予測値に基づき、村山委員が行った各地点の飛散花粉数が多い日の予測を表4に示します。

飛散花粉数が「多い(30個以上)」の日数は、区部で35日程度、多摩地域で40日程度となる見込みです。都内平均では、38日程度となり、前年の40日より2日少なく、過去10年間の平均の33日より5日多くなる見込みです。(表5)

表4 各測定地点の飛散花粉数が多い日の予測

観測地点	千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
日数(日)	34	34	38	33	34	68	49	40	32	37	34	23

(データ提供:村山貢司氏)

表5 飛散花粉数が多い日の予測

	2024年予測 ^{※6}	2023年	過去10年平均
区部(日)	35	40	36
多摩地域(日)	40	40	32
都内平均(日)	38	40	33

※5 飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器(ダラム型)で測定した数値が1日あたり30個/cm³以上の日

※6 村山委員が行った予測(表4)から算出

6 飛散開始日の予測について

飛散開始日は都全体で2月8日から12日頃と予測され、例年(過去10年平均)と比較して、やや早くなる見込みです。なお、2月初めごろに再度、飛散開始日の予測を行います。(表6)

表6 飛散開始日の予測

	2024年予測	2023年平均	過去10年平均
都全体	2月9日	2月15日	2月15日
区部	2月9日	2月16日	2月14日
多摩地域	2月9日	2月14日	2月15日